

③平成26年度 新規事業候補箇所について

- 一般国道58号 沖縄西海岸道路
那覇北道路における新規事業採択時評価
- 那覇都市圏における計画段階評価

一般国道58号 那覇北道路に係る新規事業採択時評価

- 基地等返還後の新都心の整備等により、那覇市北西部沿岸部には交通が集中（那覇市内は県民の生活や物流、さらには観光の交通が混在し、昼夜で渋滞）
- 沖縄県の主要産業である観光においても、交通渋滞が最大の課題。（観光振興を図る上で那覇市及び周辺のアクセス性向上が重要。）

1. 事業概要

- 起終点：沖縄県那覇市港町～那覇市若狭
- 延長等：2.2km

（第1種第3級、6車線、設計速度80km/h）

- 全体事業費：約731億円

（うち道路事業費：約380億円）

※国道事業と港湾事業との共同事業による実施

- 計画交通量：約42,100台/日

乗用車	小型貨物	普通貨物
約28,900台/日	約6,900台/日	約6,300台/日

2. 道路交通上の課題

課題1：那覇市北西部の渋滞緩和

○自動車交通に依存している沖縄県内において、那覇市内の交通は、日常生活の交通をはじめ、産業関連の交通や観光交通が混在し、混雑は主要都市のなかでワースト1。【図2】

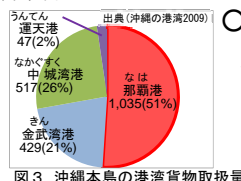
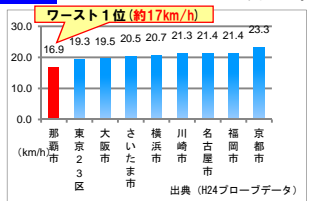


図1 事業位置図

図2 一般道における平日混雑時平均旅行速度

図3 沖縄本島の港湾貨物取扱量

写1 国道58号(泊交差点付近)の渋滞状況

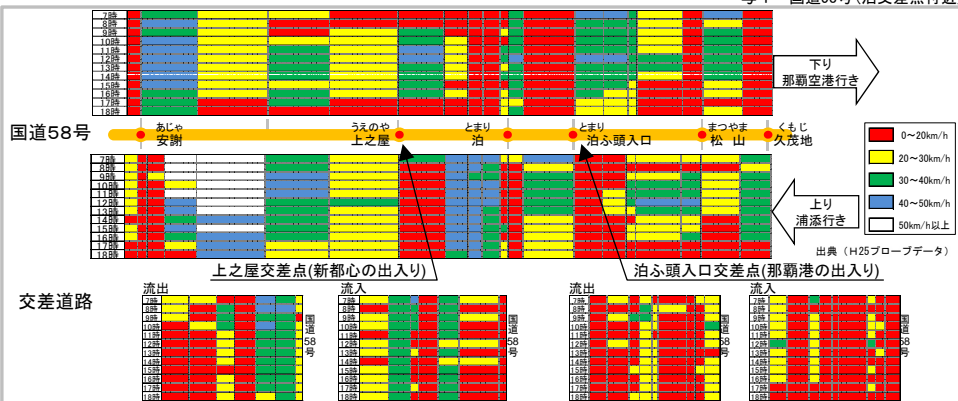


図4 時間帯別旅行速度の状況

赤色ほど渋滞が激しく、那覇市北西部沿岸部は慢性的に混雑

課題2：地域経済・地域社会等

○沖縄県では、沖縄振興計画「沖縄21世紀ビジョン」に基づき、観光振興を推進しており、近年着実に観光客が増加。【図5】

満足度調査において、観光客の約4割は「渋滞状況」に不満※【図6】

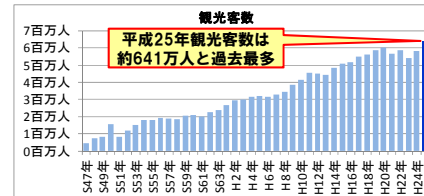


図5 入域観光客数

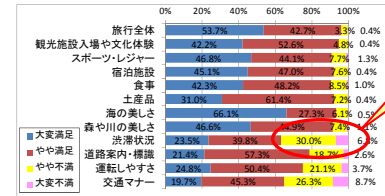


図6 沖縄旅行の満足度

観光客の約4割が交通渋滞に不満

※「大変不満」と「やや不満」の計

3. 整備効果

効果1 交通渋滞の緩和 [◎]

○那覇北道路の整備により、那覇市内に環状道路の一部が形成されることで、那覇市街地内の通過交通を転換し、定時性・速達性の確保が期待される。【図7, 8, 9】

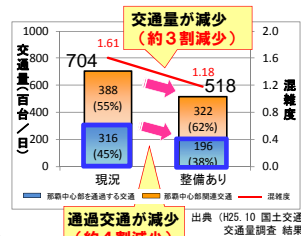


図8 国道58号の通過交通割合

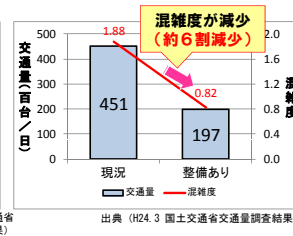


図9 臨港道路の交通量・混雑度



図7 那覇市街地の環状道路

効果2 地域経済・地域社会等への貢献 [○]

○県南地域は沖縄戦跡国定公園をはじめとした観光地が多く点在し、近年は物流関連企業や西日本最大のインター・ステーションが立地するなど、急速に成長しているエリア。那覇北道路の整備によって、那覇市北西部の渋滞が緩和されるとともに、物流拠点の那覇港と県南地域のつながりが強化され、地域経済の発展に寄与することが期待される。

■費用便益分析結果（貨幣換算可能な効果のみを金銭化し、費用と比較したもの）

B/C	EIRR※1	総費用:541億円※2	総便益:1,104億円※2
2.0	8.5%	・事業費：529億円 ・維持管理費：12億円	・走行時間短縮便益：857億円 ・走行経費減少便益：157億円 ・交通事故減少便益：89億円

※1:EIRR:経済的内部収益率

※2:基準年(H25年)における現在価値を記載(現在価値算出のための社会的割引率:4%)

一般国道58号 那覇北道路に係る新規事業採択時評価

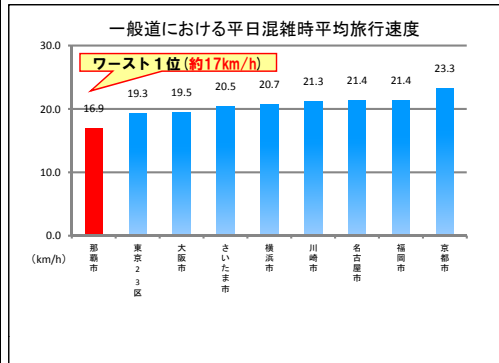


1. 那覇都市圏の課題

①中心部の交通渋滞

○那覇市内の平日混雑時平均旅行速度は全国ワースト1位(約17km/h)(図1)

○那覇市内を通過する国道58号、330号などで渋滞が発生(図2)



資料: H24プローブデータ

図1 平日混雑時平均旅行速度



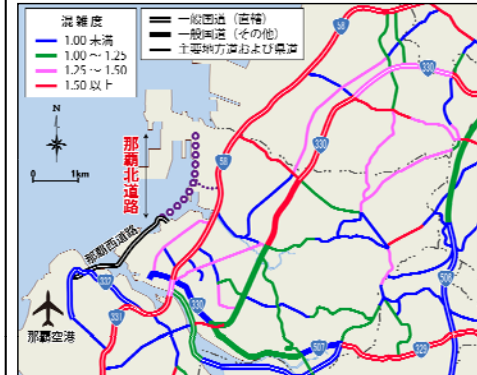
那覇都市圏

図2 那覇都市圏の混雑時の旅行速度(現況)

②直轄国道における交通容量不足

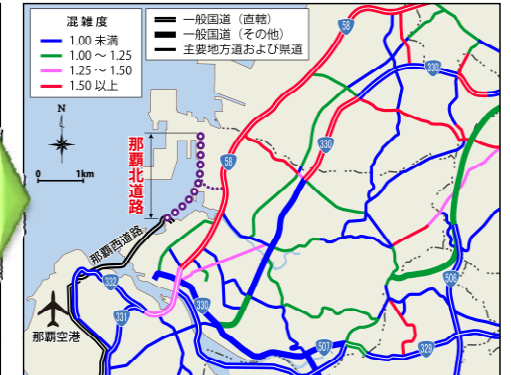
○幹線道路となる直轄国道で交通容量が不足、混雑度が高い状態(図5)

○周辺道路が整備されても、国道58号は依然として交通容量を超過している状態(図6)



資料: H22道路交通センサス

図5 那覇都市圏の混雑状況(現況)



資料: H42交通量推計結果(那覇北道路整備なし)

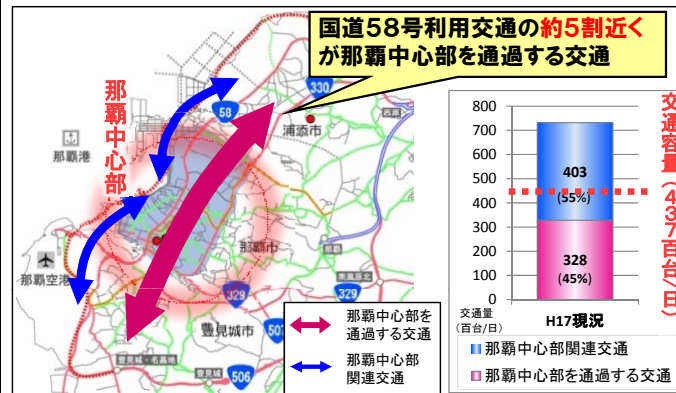
図6 那覇都市圏の混雑状況
(将来(事業中の路線が全て供用後))

2. 原因分析

①中心部への通過交通の流入

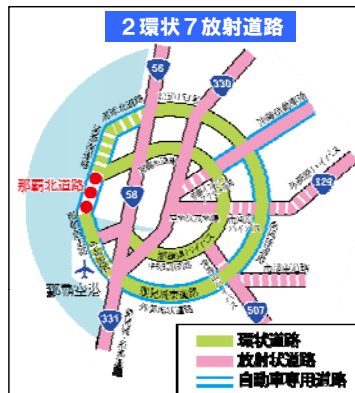
○主要幹線である国道58号は、那覇中心部を通過する交通が約5割近くを占めており、容量を大幅に超過(混雑度1.46~1.72)している。(図3)

○那覇都市圏の交通混雑の緩和を目的に計画された2環状7放射道路の一部でもあり、地元からは強い早期整備を求められている。(図4)



(H17道路交通センサスによる現況再現結果)

図3 沖縄本島中北部~南部間の交通流動

図4 沖縄県における道路整備
(2環状7放射道路イメージ)写真1 渋滞状況
(国道58号 那覇市天久から泊方面)写真2 渋滞状況
(国道58号 泊から泊ふ頭入り口方面)

⇒国道58号那覇地区における対策が必要

3. 政策目標

①中心部における通過交通の削減

②直轄国道の交通容量確保による渋滞緩和

4. 対策案の検討

評価軸		【Aルート】港湾施設内通過案	【Bルート】海上通過案	【Cルート】泊大橋併走案	【ベースライン】対策をしない案
概要		泊漁港を海側から避けた後、1号岸壁を回避し、港湾施設内への影響を最小限とした案	主に海上を通過し最短で結ぶ案	泊漁港を陸側から回避し、港湾施設内を通過する案	対策をしない案
交通 渋滞 の 解消	混雑度の解消	国道58号の混雑度が大きく減少し、断面としての交通容量を確保 混雑度(交通量(百台/日)) 国道58号【現況】1.72(752) →【整備後】1.18(518) 臨港道路【現況】1.88(451) →【整備後】0.82(197) 断面【現況】1.78(1204) →【整備後】0.98(1307) ※断面は、国道58号・新設道路・臨港道路の合計	国道58号の混雑度が大きく減少し、断面としての交通容量を確保 混雑度(交通量(百台/日)) 国道58号【現況】1.72(752) →【整備後】1.18(518) 臨港道路【現況】1.88(451) →【整備後】0.82(197) 断面【現況】1.78(1204) →【整備後】0.98(1307) ※断面は、国道58号・新設道路・臨港道路の合計	国道58号の混雑度が大きく減少し、断面としての交通容量を確保 混雑度(交通量(百台/日)) 国道58号【現況】1.72(752) →【整備後】1.18(518) 臨港道路【現況】1.88(451) →【整備後】0.82(197) 断面【現況】1.78(1204) →【整備後】0.98(1307) ※断面は、国道58号・新設道路・臨港道路の合計	国道58号の混雑度は依然として高く、断面としての交通容量が確保されない。 混雑度(交通量(百台/日)) 国道58号【現況】1.72(752) →【整備なし】1.50(655) 臨港道路【現況】1.88(451) →【整備なし】1.78(428) 断面【現況】1.78(1204) →【整備なし】1.60(1082) ※断面は、国道58号・臨港道路の合計
	国道58号を利用する那覇中心部を通過する交通・通過交通割合	那覇西道路と直結し、那覇空港から浦添市まで高速走行が可能であるため、那覇市以南～浦添市以北の交通等が当該道路へ転換 【現況】328百台/日(45%) →【整備後】196百台/日(38%)	那覇西道路と直結し、那覇空港から浦添市まで高速走行が可能であるため、那覇市以南～浦添市以北の交通等が当該道路へ転換 【現況】328百台/日(45%) →【整備後】196百台/日(38%)	那覇西道路と直結し、那覇空港から浦添市まで高速走行が可能であるため、那覇市以南～浦添市以北の交通等が当該道路へ転換 【現況】328百台/日(45%) →【整備後】196百台/日(38%)	国道58号の通過交通割合は変化なし 【現況】328百台/日(45%) →【整備なし】297百台/日(45%)
定時性・速達性の確保(指標:那覇空港～那覇港間の移動時間)		那覇空港～新港ふ頭の定時性・速達性が向上 約12分 → 約6分(那覇北道路利用)	那覇空港～新港ふ頭の定時性・速達性が向上 約12分 → 約6分(那覇北道路利用)	那覇空港～新港ふ頭の定時性・速達性が向上 約12分 → 約6分(那覇北道路利用)	那覇空港～新港ふ頭の所要時間 約12分
懸念事項		○ 特になし	× 1号岸壁の使用制限により港湾利用者の理解が困難	× 泊漁港入口部への橋脚配置に伴う漁協関係者の理解が困難	× 国道58号等の西海岸側の道路混雑という課題が依然として残る
コスト		概ね731億円(補償物件18件)	概ね856億円(補償物件16件)	概ね825億円(補償物件34件)	—
総合評価		○	×	×	×

対応方針(案):ルートAによる対策が妥当

【計画概要】

- ・路線名:一般国道58号
- ・区間:那覇市港町～那覇市若狭
- ・概略延長:2.2km ・標準車線数:6車線
- ・設計速度:80km/h ・概ねのルート:図7ルートAの通り

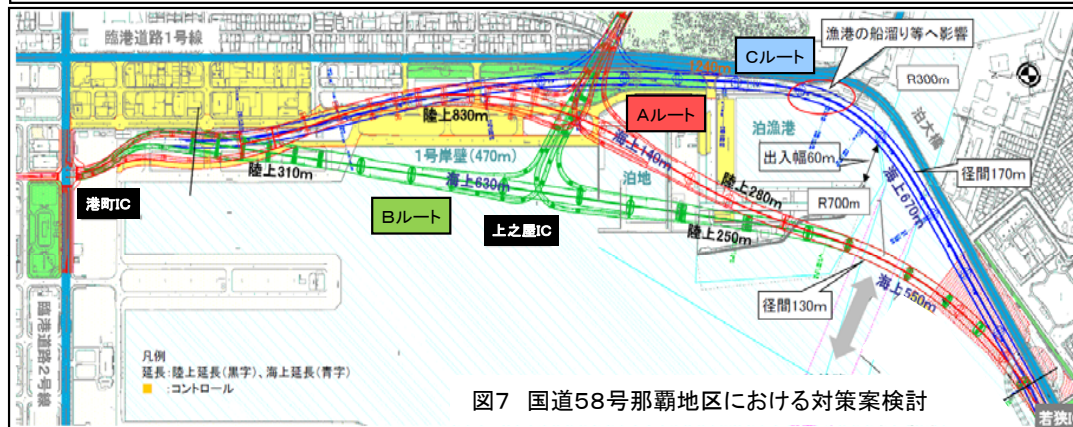


図7 国道58号那覇地区における対策案検討

(参考)当該事業の経緯等

都市計画決定等の状況

- H 6年12月:地域高規格道路 計画路線指定(沖縄西海岸道路全線)
- H 7年 8月:地域高規格道路調査区間指定
- H25年 4月:都市計画決定

地域の要望等

沖縄西海岸道路(那覇北道路)に関しては、沖縄西海岸道路建設促進期成会等により平成15年～平成25年5月までに12回の早期事業化に関する要望が出されている。また、平成25年5月に沖縄県知事より、平成25年7月に南部市町村会等より早期整備に関する要望が出されている。

那覇北道路整備断面図

